

五中学校生徒会連合体の誕生と「わたしたちの宣言」

市内の中学校と高校から代表生徒が参加して、テーマにそって各学校の取り組みなどを紹介する「市民フォーラム」を毎年開催しています。数年前、そのフォーラムの中で、ある中学校の生徒会長が次のような発言をしました。



今それぞれの学校でおきているいじめや不登校というのは、人ごとではなく自分たちの問題だと思うし、この大きな問題を解決していくためには、横同士の連携がとても大事だと思います。そこで、私は連合体というものを作りたいと思います。

この発言を契機に市内5中学校生徒会連合体が結成されました。その生徒会連合体が何年もかけて「わたしたちの宣言」を作成しました。宣言では、お互いの人権を尊重することや、「戦争」・「いじめ」・「差別」がない「平和」な社会を実現するために、7つの決意が明記されています。この宣言は、毎年各校の生徒総会で確認され、普段の生活の中で大事に活かされています。

「自分が人からされたり、言われたりしていやなことは、自分は人にしない、言わない」

今、市内のいたる所でこのスローガンを目にします。このスローガンは、2018（平成30）年の総合教育会議の中で下記のような考えのもとに決議されました。

学校でも子どもたちに話をする際に、このスローガンが子どもたちの心に響いています。

このスローガンと「わたしたちの宣言」には、筑紫野市が半世紀にわたって差別の現実に学びながら進めてきた人権・同和教育の実践の確かさと今後の展望があると思います。



世の中にはまだまだ差別があり、子どもたちもいつどこで差別に出会うかわかりません。だからこそ、小さいときから人を大切にする感覚を染み込ませる必要があると思います。また「自分」を主語にしているのは、自分事として主体的であってほしいという願いを込めています。誰でもわかりやすい言葉のスローガンにすることも大事にしたいと考えました。

わたしたちの宣言

この宣言は、私達がお互いの人格、人権を尊重すること、「戦争」などあらゆる差別や抑圧に対して、決して許さないという姿勢を貫き、なくしていこうと行動すること、そして、それらを学び続けることを大切にしていくなために考えたものです。

私達は、仲間や家族はもちろん、世界中のすべての人々の人権を尊重し、戦争や紛争、いじめ、差別がなく誰もが希望を持てる「平和」な社会を実現するために、次のことを順守します。

- 一、気持ちの良いあいさつをします。
- 一、相手を思いやる気持ちを大切にします。
- 一、自分の思いを相手に伝え、相手の気持ちも聞いていきます。
- 一、不満や悩みなどを一人でかかえこまずに、周りの人に相談し合える雰囲気をつくっていきます。
- 一、仲間のことを理解し、思いを受け止め、共に協力します。
- 一、「戦争」をはじめ、世界中のあらゆる差別の現実に学び、感じ、考え、行動を起こします。
- 一、私達が学び経験したことを、身近なところから世界に向けて発信し続けます。

2020年4月1日
筑紫野市内五中学校生徒会連合体
筑紫野市立二日市中学校生徒会
筑紫野市立筑山中学校生徒会
筑紫野市立筑紫野中学校生徒会
筑紫野市立天拝中学校生徒会
筑紫野市立筑紫野南中学校生徒会